

北見市の紹介

平成 18 年 3 月 5 日、北見市、端野町、常呂町、留辺蕊町が合併し、新「北見市」が誕生しました。人口は約 11 万 2 千人ほどのオホーツク圏最大の都市です。面積も北海道で一番広く、豊かな自然にくわえ、遺跡、温泉、水族館、サロマ湖など人気のスポットがたくさんあります。

気候は、年間を通して寒暖の差が大きく、降水量が少ないのが特徴で、球のしまりがよい良質な「玉ねぎ」の栽培に向いており、その生産量は日本一。「ホタテ」養殖発祥の地常呂地区では日本有数のホタテ水揚げ量を誇り、世界中に輸出されています。

農林水産業をはじめ、カーリングや焼肉など多彩な地域資源に恵まれ、産業・経済の中核都市として発展しています。



生産量日本一の北見市の玉ねぎ
佐川町内のスーパーでも、よく目にしますよね。



澄み切った晴天は「オホーツクブルー」と呼ばれているそうです。

北見市と佐川町のつながり



旧常呂町土佐区の土佐神社 (明治 38 年建立)

③ 広報さかわ R6.3

北見市と佐川町は、1895 年 (明治 28 年) に尾川村 (現佐川町) の住民を中心とした土佐団体が常呂町 (現北見市) に入植したことを契機に、1988 年 11 月 6 日に佐川町において、翌 1989 年 2 月 12 日に常呂町において、姉妹都市提携の調印が行われました。以来、子ども交流や物産交流などが継続して行われています。



2000 年に北見市の「寒さ」と「焼肉文化」を P R しようと始まった「北見厳寒の焼き肉まつり」は、今やチケットを入手するのも困難なほどの大人気のイベント。氷点下 10 度近くで食べる焼肉ってどんな感じなんですか…？



辻直孝 北見市長と記念品の交換

令和 6 年 1 月 24 日から 25 日にかけて、北見市より訪問団のみなさんが来町されました。25 日には町内各所を視察いただいた後、佐川総合文化センターにて記念式典および祝賀会を開催。終始和やかな雰囲気につつまれるなか、これまでの交流を振り返るとともに、今後のさらなる友好・親善交流を誓いあいました。



まだ雪の残る牧野公園では、咲き始めたバイカオウレンをはじめ、さまざまなものを興味深げにご覧になっていました。



祝賀会では子どもたちによる白倉神社花取踊りが披露され、会場は大きな拍手につつまれました。

広報さかわ

3 月号

令和 6 年 3 月 1 日 発行

今月の表紙



1 月 28 日に、県武道館で行われた第 53 回高知県中学校柔道新人大会 女子団体で、佐川中学校 柔道部が優勝いたしました！ 17 年ぶりの快挙ということです。

撮影に伺った同校武道館では、コーチの声が響く中、すり足や受身音から部員たちの熱意が伝わってくるようでした。今後のご活躍、期待してますね。

PICK UP CONTENTS

- P 2 佐川町・北見市姉妹都市提携 35 周年
- P 4 高北病院
- P 5 かわせみからのお知らせ
- P 9 おしらせ
- P 16 ボタニカルニュース
- P 17 さかわ観光協会
- P 18 さかわ発明ラボ NEWS
- P 20 地質館だより・さくら座 Information
- P 21 青山文庫だより
- P 22 としょかんだより
- P 23 学校だより-佐川中学校-